

# モモの栽培・防除暦（令和7年版）

鹿児島県園芸振興協議会始良支部（果樹部門）

月	旬	生育相	管理作業	対象病害虫	基幹防除		1000 当たり 薬量	補完防除及び注意事項	散布日・散布量 記入欄 (基幹防除)	
					FRACコード(殺菌剤)	IRACコード(殺虫剤)				
1			整枝・せん定	◎切り口及び傷口のゆ 合促進	トップジンMペースト (せん定整枝時、病患部の削り取り直後及 び病枝切除後)	1	原液塗布	※ 特に1cm以上の切り口には必ず塗布する	月 日	
2			誘引							
3	中 下	出蕾期 開花期	摘蕾, 摘花 晩霜対策	◎せん孔細菌病 縮葉病	ムッシュボルドーDF	M1	500倍	200g	※ 使用時期は開花前まで	月 日 リットル
4	上	落花期 展葉期	人工受粉 芽かき	◎灰星病, 黒星病 せん孔細菌病	チオノックフロアブル	M3	500倍	200cc	※ 殺虫剤は開花期以降に散布する	月 日 リットル
	中	生理落果期 新梢伸長期	予備摘果	◎アブラムシ類, モモハモグリガ	ダントツ水溶剤	4A	4,000倍	25g		
	下	一次摘果 ねん枝		◎灰星病, 黒星病 せん孔細菌病	デランフロアブル	M9	600倍	166cc		
5		果実肥大期	仕上げ摘果	◎灰星病, 黒星病, せん孔細菌病	デランフロアブル	M9	600倍	166cc	※ 灰星病は収穫20日前頃から果実への感 染が多くなるため、品種に応じて防除	月 日 リットル
			ねん枝							
		新梢停止期 (硬核期)	袋掛け	◎灰星病, 黒星病	ファンタジスタ顆粒水和剤	11	3,000倍	33g		
6	上	成熟期・収穫 ・はなよめ・さおとめ ・ちよひめ・山富士白鳳		◎灰星病, 黒星病	フルーツセイバー (収穫前日まで)	7	1,500倍	66cc	○ 灰星病, 黒星病 ○ モモハモグリガ, アブラムシ類 - アミスター10フロアブル 11 1,000倍 (前日まで) - スタークル顆粒水溶剤 4A 2,000倍 (前日まで) ※ 雨天時の収穫は控える ※ 適期収穫に努める	月 日 リットル
	中									
7		花芽分化期 (7~8月)		◎せん孔細菌病	ICボルドー412	M1	30倍	3.3kg	○ モモハモグリガ ダントツ水溶剤 4A 4,000倍	月 日 リットル
8			夏季せん定						○ せん孔細菌病 <台風通過前> ICボルドー412 M1 30倍 <台風通過後> スターナ水和剤 31 1,000倍	
9			台風対策							
10										
11	中	落葉期	元肥							
12		休眠期	土づくり (堆肥・苦土石灰)	◎カイガラムシ類	スプレーオイル	UNM	30倍	3.3リットル	○ コスカシバ ラビキラー乳剤 1B,1B 200倍 (落葉後~発芽前《休眠期》) ※ 落ち葉は園外に持ち出す。	月 日 リットル

注1)この防除暦は令和6年12月11日現在の登録内容を掲載したものです(※農薬使用時期・使用回数等については、別紙参照)。

## 【施肥基準例】

みかん秋ライト(13-9-8)[15kg袋]使用の場合

(10a当たり)

時期	生産量(1.0t)	生産量(1.5t)	生産量(2.0t)
基肥(11月中旬)	3袋	4袋	6袋
堆肥(12月)	完熟牛ふん堆肥 500kg		
苦土石灰(12月)	80~100kg		

農薬登録内容が変更されている場合があるので、農薬使用前に  
表示ラベルを熟読してください！

◎農薬の安全使用基準を遵守するとともに、生産履歴の記帳を行いましょう！

◎農薬散布時は飛散防止に努めましよう！